

登山情報をネットで調べる時の注意点

2

ネット社会が進んだ現代、山の情報は昔に比べてはるかに手に入れやすくなりました。そこで、今回は「登山前の下調べ」にネットを使うことを主軸に、数多くあるサイトから、自分にと
義な情報を入手する方法、検索時の注意点を考えてみました。

※ネット検索の長所

- ・パソコン(スマートフォン)があれば、簡単に検索できる。
- ・たくさんの情報が短時間で検索できる。
- ・マイナールート(バリエーションルート)、沢なども検索しやすい。
- ・比較的新しい情報が手に入る。

※ガイドブック(書物)の長所

- ・書き手がその山域に精通し、多くの登山者にわかりやすく解説する能力を持っている。
→ネットの場合は、どんな経験や技量の持ち主か、あやふやな場合がある。
- ・コースタイム、地形の記述、季節感などの表現が、読み手の参考になるよう、
注意が行き届いている。
→ネットの場合は、発信者の実力・経験がさまざま。個人の記録集的要素が強い。間違っ
見られる。
- ・その山域の全体情報、サブコースなどの情報が得られるガイドブックもある
→ネットの場合は書かれているものがすべて。

ネットを見ると、同じコースでも、書き手によってこんなに違う

A 北アルプスの難コースと聞いていたが、よく見ればルートは明確、ロープ の必要はまったく
の岩稜歩きと素晴らしい眺め、スリルに満ちた一日を満喫した。小屋に到着後は景色を
ビールで乾杯した。

B 足を踏み外したら命のない岩場がつづき、泣きたくなった。リーダーに何
度もロープを出してもらい、しがみつくように歩いた。のどはカラカラ、足はガクガク。小屋に着
陽が落ちてからだった。

(いずれも夏季の西穂から奥穂への縦走についての記述)

現実は「B」だとしても、書き手の「見栄」や「優越感」「かっこつけ」が入るとネットに書かれる文:
に変化する)

C 足を踏み外したら命のない岩場がつづき、スリル満点。危ない場所ではリ
ーダーがロープを出してくれたので安心だった。小屋に着いたのは暗くなってからだが、長い難
から、これもご愛敬というものだろう。

ネットは強大な「虚栄心覚醒装置」とも言えます。自分が、どうやったら不特
定多数の人から評価されるかばかり考える人は、自分自身を等身大以上のすば
らしい登山者に見せかける細工を施します。

※自分にとって正しい情報、必要な情報を得るためには？

比較的安心な情報発信元

・プロガイド ・山道具店、登山用品メーカー ・ 記述管理が徹底している
など背負っているものが大きい組織の情報源

※良い(自分に合った)HP、ブログの選び方

- 自分の山行形態や実力が似ている人、かつ年齢や居住地などが近い人
- 自分が行ったことのある山の報告を探し、歩行時間や感動した場所が似ているかどうか調べ
- グループ登山中心の人なら、リーダー格の人の情報
- 全体をみる力、客観性があり、記述内容に信頼がおける可能性が高い
- 写真、動画、遊行図が提示されている
- ていねいで、わかりやすい文章のサイト
- × 批判的な記述、正しいが概念論の押しつけ。汚い言葉遣い。独善的。
- 失敗談や実体験が多いもの
- 脇道に入ってみたが、30分ほどでヤブに覆われてしまい、引き返した
- × その脇道は、みんなが「もう使えない」と言っていた。
- × どうも～らしい ～といわれている～と思われる

※ネットを見た後にやること「調べた」後は「考える」

ネット発信者と受け手(私たち)のおかれた状況は、まったく同じではありません。

ネットで必要な情報や知識を調べる→わが身に 照し合わせ分析し考える

- 夏の記録でさえ、水場の水量は少ないようだから、自分たちの行く秋はもっと水に苦労するから登山口でたっぷり補給していこう。
- ネットで見ただけは夜行バスで入ったが、私たちは山麓で一泊して、翌日登るから、もう少し上げられるかもしれない。
- この尾根は間違いやすく、下りに使ったグループの多くが道迷いしている。私たちは登りに使う。
- このコースはだいたい4時間で歩けるようだが、私たちのメンバーには病み上がりのAさんがいる時間の余裕を持とう。
- この情報だと最終バスは17時らしいが、記録は去年のものだ。念のためバス会社に確認しよう。会社の電話番号も調べておこう。

ガイドブックで客観的な知識を、ネットで詳細な部分を調べ、直近情報は山小屋に確認する。わが身に照らし合わせてさまざまなケースをシミュレーションすることが、スムーズな登山に役立ち、につながります。

《山行予告》

- 11/9～10交流ハイク・甲州の山(斎藤亘さん別荘泊)
- 12/21～22冬合宿・外秩父七峰縦走ハイキング(堂平山天文台泊)
- 天文台宿泊施設は、一般住居と同じです。バス、トイレ、キッチン、暖房有り。夕朝食は持ち込み自炊します。